

# 「国語」・「算数」・「理科」の力と学習の様子

～『R4 全国学力・学習状況調査(2022.4.19)』結果から～

今年度は、国語、算数、理科の調査が行われました。どの教科にも、学校での授業の工夫や家庭での学習支援の効果が表れています。

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ



## ★国語について

### ①「学習指導要領の内容における結果から」

◎「知識及び技能」の言葉の特徴や使い方に関する事項が優れていました。「思考力・判断力・表現力等」では、「話すこと・聞くこと」がやや苦手な傾向がありましたが、「書くこと」「読むこと」はよく頑張っていました。

### ②『特に正答率の高かった問題』

#### ◎【言葉の特徴や使い方に関する事項】

文の中で漢字を正しく使うことや、話し言葉と書き言葉との違いに繋がる同音異義語についてよく理解し、定着が見られました。日々の音読練習や漢字練習など継続した丁寧な学習や、小テストの繰り返して小まめに習得を確認していることが、成果となっていると考えられます。

#### ◎【読むこと】

物語を読んで、伝わってくることを考え人物像や物語の全体像を具体的に想像することも、記述式の解答でしたが、よくできていました。朝の読書タイムやボランティアによる読み聞かせ、親子読書など、本に親しむ時間や、NIEの取り組みも成果となっていると考えられます。

### ③『課題として』

#### ▲【言葉の特徴や使い方に関する事項】

話し合い活動の中で、必要なことを質問して、話の中心を捉えることはできていましたが、「言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあること」を捉えることができなかった児童がいると考えられます。話し合い活動は、意見を一つにまとめるためだけでなく、相手の意見を認めたり尊重したりしながら進めることが大切であることを、学習の中で再確認していきます。

#### ▲【書くこと】

様々な観点で互いの書いた文章を読み合い、感想や意見を伝え合うことを通して、自分の文章のよいところを書いてまとめたりすることに課題が見られました。伝え合いの内容を理解し、文章の「よさ」を見付けることができなかったと考えられます。読み手に、自分の考えを明確に伝えるためには、自分で書いた文章を読み返し、文や文章を整えることが大切です。感想や意見を伝え合う活動の目的を明確にした学習を進めていきます。



# ★算数について

## ①「学習指導要領の4領域における結果から」

◎どの領域でも、力をつけています。特に「数と計算」及び「データの活用」の領域がよくできていることが分かりました。基礎・基本を大切に、繰り返し練習してきたこと、間違ったところをそのままにせず、どこで間違えたのかももう一度見直すことなど、日々の地道な取り組みが効果をあげていると考えられます。

## ②『特に正答率の高かった問題』

### ◎【数と計算】

整数の乗法の計算や二つの数の最小公倍数を求めることが、しっかりできていました。正確に計算することや公倍数や公約数について理解していることなど、算数で学習したことが定着していると考えられます。また、問題場면을解釈し、**除法を用いる理由**を記述式で解答することもとてもよくできていました。

### ◎【図形】

**長方形の意味や性質、構成の仕方**について、よく理解できていました。長方形の作図をプログラミングする過程での設問でしたが、プログラムの流れの意味をよく理解し、長方形の向かい合う辺の長さについて、処理できていました。複合的な問題にもよく対応できていることが分かります。

## ③『課題として』

### ▲【変化と関係】

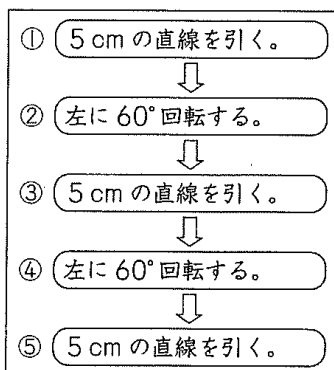
割合を用いて問題を解決する場面において、数量（飲み物の量）が変わっても割合（飲み物の濃さ）は変わらないことを理解することに課題があります。例えば、ジュースを二人で分けたとき、二つのジュースの味には変わりはありません。子どもたちも、普段の生活の中で経験していると思われることが、算数の問題場面になるとそれが生かされませんでした。授業の中で、割合にかかわらず、**日常の具体的な場面に対応させながら考える**ことを大切に学習活動に取り組みます。

### ▲【図形】

長方形については、十分理解できていた作図の問題ですが、**正三角形の作図**には課題が見られました。三角形の内角が  $60^\circ$  であることは理解していても、作図の仕方を考えるとき、外角が  $120^\circ$  であることの理解が不十分だったと考えられます。**角の大きさを回転の大きさとして捉えること**や作図の仕方を筋道を立てて説明することができるように、具体物や作業を取り入れた授業を進めていきます。

<問題より>

つくったプログラム

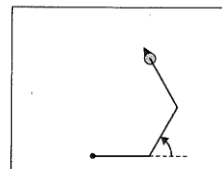


はなこ

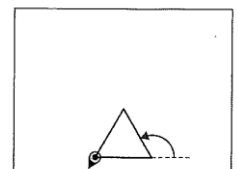
5 cm の直線を引く。

左に  $60^\circ$  回転する。

2種類の命令のうち、どちらかの命令を直すとかこうとした正三角形ができますね。



実際の結果



かこうとした正三角形

## ★理科について

### ①「学習指導要領の4領域における結果から」

◎「生命」を柱とする領域がよくできていました。モンシロチョウやめだかなど、生き物を実際に育て観察しながら、児童が問題を見だし、予想や仮説をもち、解決の方法を発想していく、授業過程が成果をあげていると考えられます。自分の考えをもつことを大切に、意見交換の場では、タブレットを用いることによって、よりわかりやすく、よりたくさんの友だちの考えと比較することができるのも、自分の考えを検討する上で有効だと思われます。

### ②『特に正答率の高かった問題』

#### ◎【生命】

ナナホシテントウの観察記録で、「問題」を基に、誰の観察記録であるかを、全員が正しく選ぶことができていました。「問題」に対する必要な**観察の視点を読み解く**ことが、よくできたと言えます。また、新たに追加された情報を基に、「問題に対するまとめ」を書き直す記述問題もよくできていました。「昆虫の育ち方には一定の順序がある」という**基礎・基本の定着**も、高い正答率に繋がったと考えられます。

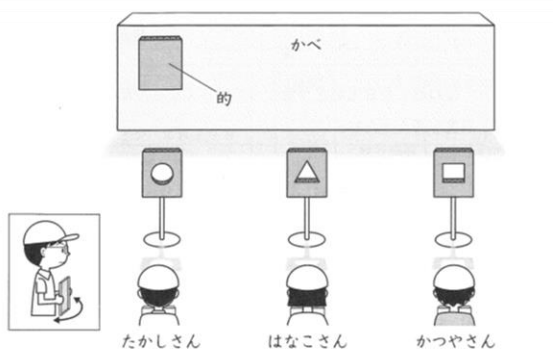
#### ◎【地球】

鏡ではね返した日光の位置が変化したことを基に、**実験の方法を検討して、改善する方法**を考えることがよくできていました。観察や実験を重視し、予想したことが確かめられる方法になっているかどうか、そうでない場合は、改善できるようにすることを大切に、授業を進めてきた成果だと思えます。

### ③『課題として』

#### ▲【エネルギー】

光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てた人を選ぶ問題で、**日光は直進すること**についての理解に課題がありました。「三角形の光」を当てるとという言葉に惑わされて、三角形の段ボールの前に立つ人物を選んでしまったと考えられます。「反射した日光は直進する」ことなど、**実験で確かめ、知識を日常生活に関連付けて理解していく**授業を進めていきます。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

#### ▲【地球】

「結果からいえること」は、提示された結果のどこを分析したものなのかを、正確に選ぶことに課題が見られました。観察などで得た結果を「結果からいえること」の視点で分析するとき、結論を導き出すために必要な数量や、変化の大きさなどの特徴に注目することが大切です。授業の中で、特徴の読み取り方や自分の考えを言葉で表現し、意見交換することの重要性について意識して、授業を進めていきます。

# ★学習や生活について

◇よい傾向 ◆心配な傾向

## 《家庭や地域に関すること》



- ◇ほとんどの児童が、朝食を食べている、同じくらいの時間に起床・就寝していると答えています。
- ◇地域の行事に、多くの児童が参加しています。
- ◆携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したとききちんと守っている児童が少ない傾向にあります。



## 《学校に関すること》

- ◇調べ学習や、考えをまとめたり発表したりする場面で、ICT 機器の使用率が大変高い傾向にあります。
- ◇課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童が多いです。
- ◆平日、土日ともに学校の授業時間以外に勉強している時間が少なく、自分で計画を立てて勉強する児童も少ない傾向にあります。



## 《自分自身に関すること》

- ◇将来の夢や目標を持っていると答えた児童が多いです。
- ◇自分でやると決めたことをやり遂げようとする児童が多いです。
- ◆自分にはよいところがある、人が困っているときは、進んで助けていると答えた児童が少ない傾向にあります。
- ◆読書が好きと答えた児童の割合が低く、また読書時間そのものも少ない傾向にあります。



## 学力面との関係で分析すると、

- ◇国語や算数、理科の授業が好きである。
- ◇家で計画を立てて勉強している。

と答えた児童ほど、正答率が高くなっています。

- ◆国語や算数、理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。
- ◆授業では、課題の解決に向けて、主体的に取り組んだ。

と答えなかった児童は、正答率が低い傾向にあります。